

各地保育
會の活動

静岡縣並静岡市保育會概況

静岡市立静岡幼稚園長

金 原 伸 子

静岡市保育會の實狀を述べようと思ひますが、それには静岡縣保育會の概況を並述しなければなりません。それは市保育會は發生上からひも、事業上からも縣保育會と關係があり、殊に市保育會の事業經營は常に縣保育會の運營を其の一部に攝取して、地の利から得る調節をはかつてゐるからであります。

故に静岡縣教育會保育部と、静岡縣幼児教育研究會、静岡市保育會とに關して、その相關的立場を記述したならば静岡市保育會の狀況を傳へ得られると共に、縣下保育會の一般に就て述べることにならうと思ひます。又縣下の各幼稚園は皆縣全體の事業と照合しつゝ、各自の經營をしてゐるので、この記述は同時に縣下各地の保育狀況を知るの緣由ともなりはしないだらうかと思ひます。

〔一〕静岡縣教育會保育部

創設 明治四十年五月静岡縣保育會として創立以來二十有三年本縣幼稚園教育の振興普及に盡す。

改名 昭和四年二月縣教育總會の決議により、教育會の一部として特設せられ同年四年教育會保育部として第一回總會開催

現在役員

保育部長 静岡縣女子師範學校長 山東善之進
保育副部長 三支部長之を兼任す

東部 沼津市立沼津幼稚園長 外岡千代藏
中部 静岡市立静岡幼稚園長 金原伸子
西部 濱松市立縣居幼稚園長 袴田彦一

本部の目的及事業

社團法人静岡縣教育會が定備されてゐる故に、その一部たる本部は整然たる組織を成し、目的達成のために事業を劃然と營んでゐる。

規程第三條 本部ハ保母ノ協同團結ヲ圖リ教育上ノ研究調査ヲナシ幼兒保育ノ普及改善並ニ振興ヲ圖ルヲ以テ
目的トス

規程第五條 本部ハ毎年一回總會ヲ開催シ其ノ他左ノ事

業ヲ行フモノトス、講習會、幼兒教育研究會、縣内外

保育狀況視察、其他、

本部は總會を中心行事として、年々東中西、三支部を順
順に廻り、全會費の均霑を計つてきたところに一つの特色
があります。事業を例示すれば、

昭和十年度

(1)總會 會場(中部)清水市
建議案

幼稚園指導機關の擴充を圖るやう縣當局に建議するこ

と 東部提出

協議題

本縣幼稚園使用の塗繪帖を制定するの可否、若し制定
するにせば如何なる内容を供へたるものが適當なるか
中部提出

園兒保健施設上留意すべき點如何

西部提出

談話題

幼稚園として非常時訓練の實際を承りたし 西部提出

研究發表 (各園保姆)

○若き芽生を育みつゝ

○幼兒保健の小さき試み

○我が園に於て實施したる紙芝居の効果について

○漫畫ミ子供

○我が園實施の夏季林間保育について

○教育的立場より見たる自由畫

(2)幼稚園長會議

學務部長を始め縣官御來臨の上縣下幼稚園長(七五名)會
議を開催し、經營竝に保育に關する指示事項等の詳細なる
説明あり引き續き聽取事項の答申發表をなす

聽取事項 幼兒保育上特に留意しつゝある事項

(3)縣保育要目作製發表

先年度中より作製にかゝる本縣保育要目昭和十一年一月
完成。 以上

昭和十二年度以降は、次の項に於て述べますところの幼
兒教育研究會なるものを、縣直接に主催するに及んで、總
會行事の中樞をなす研究發表、協議の部分等を之に含ませて、
本部としては會員の修養、實力養成に努力することに、なり
ました。

昭和十二年度

總會

會場 (中部)靜岡市

講演 「保育者の心構」 東京女高師 會 橋 教授

昭和十三年度

總會

會場 (西部) 金谷町
講演 「時局の認識と保育」

見學 牧野原茶園及製茶試驗場
昭和十五年度 東京文理科 樽崎博士
大學教授

紀元二千六百年奉祝 紀念總會
教育勸語換發五十年
會場 (東部) 沼津市

聽取事項 保育上特に賤を重んじ家庭と聯絡をなし善
良なる習慣を養成するに努めらるゝ實際案

講演 「國民幼稚園の經營について」

東京女高師 倉橋教授

(二) 幼兒教育研究會

大正十五年幼稚園令改正に際して、静岡縣幼兒教育研究
會が創設され、毎年縣補助金を得て事業を經營してまゐり
ました。

幼稚園令改正當時は、保姆の有資格者が非常に少かつた
爲、本會は縣の承認を得て、資格を與へる爲の講習會を開
催し、尙一般保姆の實力養成につぎましたが、その貢獻
は少くありません。爾來年々繼續いたしましたが一例をあ
げますれば、

昭和八年度

一、長期講習

目的 資格附與及一般保姆實力養成

期間 離岡市、濱松市、沼津市の三支部に於て四ヶ月間

自九月 至十二月 隔週土曜日 八回七十二時間

科目、教育、幼兒心理、博物、圖畫、手工、

講師 東部 沼津高等女學校

中部 静岡女子師範學校 各科擔任職員

西部 濱松師範學校

二、夏期講習

期間 八月(三日間)

科目及講師

兒童心理 廣島文理科教授 久保良英先生

童話 文部省囑託 櫻葉 勇先生

昭和九年度

一、夏期講習

期間 八月(三日間)

講師 京都 野上博士 「幼兒心理」

東京 佐々木英先生 童話指導

昭和十年度

本年度は縣補助金を三支部に分配して各部に於て研究、
中部に於ける研究は、

會場並會期 静岡幼稚園に於て十月五、六日

講師 奈良女高師 會澤タガエ先生
附屬幼稚園

科目 各科保育上につきての講演並に保育の實際

昭和十一年度

長期講習 前年の通り

昭和十二年度

本年度以降は縣にて補助金を交附せず縣自體で主催して
保育研究會を招集するこゝになりました。即ち、

保育研究會

會場 靜岡市

臨席 縣學務部長、視學官、縣視學全員、學校衛生技師

出席者 縣下全園長、主任保母

聽取事項園

1、園兒保健に關し特に留意しつゝある事項

2、園兒性情陶冶に關し特に留意しつゝある事項

講演並講師

「保育の本質より眺めて」 東京女高師 倉橋教授

昭和十三年度以降大體之に準じて行はれ、奈良女高師

森川教授或は樽崎博士を聘して講演を伺ふ等以つて現

在に及んでゐる。

(三) 靜岡市保育會

開設 昭和六年六月、靜岡市保母會として開設

改名 昭和八年十二月二十三日、靜岡市保育會と改名

従來の保母會を市内に於ける保育事業關係者一般の會

合さすべく協議の結果、會員投票に基いて靜岡市保育會と決定。たまく皇太子殿下御誕生日になつて、佳き先幸を祝福したのであります。

加盟保育團體幼稚園、十五、保育園、六、托兒所、二會費、加盟團體は各一年に二圓の會費を負擔する。

第一回例會

昭和九年二月二十四日、長くも皇太子殿下御降誕奉祝日中を選び、縣官並に市上司の來臨を請ひて披露會を開き本會の發展を期した次第であります。

事業

座談會、研究會、講演會、親睦會等

大規模のもの、大會合のものは縣が主催いたします。

本會はそれを地の利によつて全會員が均霑し得るので、便宜上それ等をも本會事業の中に考慮して、本會

は専ら、全員お互が打ち解けた親しみの裡に、自由に充分に事業の遂行がなされることを越旨とし、しかも

忸れて怠ることなきやう研究と向上を計つてまゐります。

毎回の事業は特別の行事以外、當番制として其の計畫、日時、會場、方法等は當番園が幹事と協議の上決定し、其の準備、當日の幹旋等も當番園が責任をもつて事に

あたります。

當保育會は縣の中央たる關係上、縣内の他の保育團體に比べて、講師の招聘も比較的容易に、時には名士の來函せられたのをそのまゝ聘して有益な會合を催すこともあります。事業を催すに適當な會員數を、地域内に纏められてゐることも好都合の一つであります。仍つて左記の如き事業が、縣主催の大規模行事と混み合ふこともなく、遂行されてゆきます。尙諸會合の機會に出来る限りは附近の會員外の同職の方にも御案内して出席の便宜をはかつて居ります。市は中心に、市は模範に、市は率先に。本會員は及ばずながら常に念願いたしてゐるのであります。

最近の事業例示

童話實演並研究座談會

會員及市内在住の童話會員(主に小學校職員)と合同にて開催、静岡幼稚園々兒に對する童話の實演をなし、引き続き研究座談會をなす。

非常時局に關する保育懇談會

女子師範學校長より目下の非常時局中の保育者として、さるべき態度及びこの際に於ける、幼兒の訓練又は防空令公布下の實際の注意等細かにお話あり、又静岡ホーム保育學園長より戰時中に於ける幼兒の教育上特に注意すべき事等、歐洲戰爭後に現はれたる實例をあげて話され、一同にて種々懇談研究をなす。

國體本義の繼續研究會

講師

静岡女子師範學校長

自昭和十三年一月
至同 七月

乳幼兒愛護週間展覽會

縣及市社會課と聯絡をこり各園より保育參考製作品の出品をなす。

幼稚園塗繪帖作製

本會にて研究作製したるものを縣保育總會の際協議し、決議の上本縣塗繪帖として制定し、其の後縣内一般使用の上研究を重ね改正を加へ現行のものに至る。

市内陸軍病院慰問

本會主催、園兒の唱歌遊戲慰問、手技慰問品贈呈(七夕飾り其の他の手技品)會員園兒の據出金にて慰問品(運動具及浴場設備品)を贈る。

講演會、講習會

名士の御來岡の機又は御通過のついで等御依頼し、又は休暇休日等を利用して有益なる會合をなす。

運動、遠足

體位向上、親睦の意をもちて遠足、密柑山登り春の地引網等に出かけたる事もあり。

静岡市聯合母の大會

講師

東京玉川學園長

小原 國芳先生

二千六百年記念聯合母の大會

古事記の研究

二千六百一年の繼續研究として、本年一月より古事記の研究を開始、約一ヶ年間位(他の行事を取り入れつゝ)隔週土曜日午後二時間。

講師 静岡女子師範學校松浦教諭

國民學校總論につきて

古事記の研究後講師の御都合のつく限り、毎回繼續講演の豫定

講師 静岡女子師範學校長

縣保育部長として常に御熱心にお世話下さる女子師範學校長は、本會の顧問であります、尙又本會の加盟團體である女子師範學校内千代田幼稚園の園長である關係上、御都合のつく限りは常に例會へも出席下され、其の他講師として便宜をお圖り下さる等本會のため非常に好都合にて、本會進展の上にも誠に喜ばしい次第であります。

現在役員 常任幹事

幹事

”

”

顧問

静岡幼稚園長 金原 伸子

静岡ホトム保育學園長 石丸 隆

静岡子供相談所 戸崎 潛龍

櫻花幼稚園長 林 叔子

木花幼稚園長 永田こはな

静岡縣女子師範學校長 山東善之進

家庭教育要綱案 (朝日新聞より)

教育審議會で決定

教育審議會二十六回整理委員會は二日文科省に開かれ「社會教育」に關する答申案中の「家庭教育」に關し左の如き答申要綱案を決定した。

要綱案

- 一、家庭教育は女子育成の基礎たるをもつて、皇國の道に則り、わが國家族制度の美風を振起して、家庭生活を充實し、健全有爲なる子女を薰陶するをもつて趣旨となすこと
- 二、家庭教育においては左記事項に留意すること
 - (一) 家に對するわが國固有の觀念を把握せしめ、家族制度の眞精神に徹せしむること
 - (二) 健全なる家風の樹立に力むるとともに、家庭生活の刷新改善を圖ること
 - (三) 敬神宗祖の念を養ひ、家における祭祀及び行事を重んずること
 - (四) 子女の躰を重視して、その善良なる品性、剛健なる精神、淳美なる情操の涵養、正しき習慣の修得、實踐躬行の訓練に力むること
 - (五) 子女の保健衛生に留意するとともに、鍛鍊を重んじ、強靱なる身心の育成に力むること
 - (六) 子女に對し科學的教養訓練を行ふこと
 - (七) 家庭においては學校と密接周到なる聯絡を圖り、子女の教養上遺憾なからしむること
- 三、婦人諸團體をして家庭教育の振興に資せしむること
- 四、母の會等の施設の整備を圖り國民學校、幼稚園、託兒所等に普及徹底せしむること
- 五、家庭教育に關する指導者の養成ならびに講習等の整備擴充を圖ること
- 六、家庭教育の研究に關する施設をなすこと